

サービス

JITAがインターネット顧問制度をスタート

革新的な支援サービスとしてS O H O / 中小企業を支援するN P O 法人日本I T イノベーション協会 (J I T A) は、会員企業に対し定期的にI T コーディネーター (I T C) が訪問する「I T コーディネーター顧問制度」を発足させた。

- JITAの会員サービス例
・Web 関連サービス
・ISO 取得支援サービス
・適正人材情報提供サービス
・メールマガジン等での情報提供
・法務、税務・会計の相談など

日本I T イノベーション協会
東京都江東区木場5-11-17 商工中金深川ビル4F
電話:03-5620-1435 URL:www.npo-jita.org

新刊

インターネットでビジネスを行う際に手元に置いておきたい1冊



「インターネット法律相談所」(リックテレコム) は、インターネット社会の相談実務に精通した弁護士や企業法務担当者で構成される専門家集団 N P O シロガネ・サイバーホールが、オンラインで、著作権、不正アクセスなど様々なインターネットトラブル事例を紹介し、その対処法についてわかりやすく解説したものである。すべてQ & A 形式となっており、その答えに沿った詳細な解説が付随している。

統計

2004年ウイルス届出状況発表 W32/NetSkyが猛威

独立行政法人 情報処理推進機構 (I P A) は、コンピュータウイルス・不正アクセスの届出状況について2004年の結果をまとめた。2004年の総届出件数は52151件と、2003年の17425件から約3倍に増加。2004年の特徴は3点。①大量メール送信型のウイルスが猛威を振るう。特にW32/NetSkyが猛威を振るう。3月以降の届出件数が10ヶ月連続でワースト1に。②ウイルスの亜種が次々出現。W32/NetSky、W32/Bagle、W32/Mydoomと、それぞれ30種類以上の亜種が次々出現したため、ウイ

お問い合わせ先
独立行政法人 情報処理推進機構
http://www.ipa.go.jp/

新製品

ネットワークにつなげるだけでセキュリティ対策! ウイルス対策ゲートウェイ「AVS-GW」

「ウイルス対策をしたが、設定が難しい! コストも気になる!」こうした中小規模企業に共通するセキュリティへの悩みに応える便利な製品が登場した。2005年1月にミカドから発売された「AVS-GW」は、ネットワークに接続するだけで簡単にセキュリティ対策を始められる手間いらずの製品。すでに100万台の実績を持つ「F-Secure アンチウイルス」と同じエンジンを採用。省スペース (本誌の約半分ほどの大きさ) で消費電力が最大30Wと、省エネかつ静音だ。既存のネットワーク環境を変



標準小売価格 (税込み)
ライセンス数 初年度 次年度以降
25台以下 257,250円 78,750円
50台以下 319,200円 105,525円
100台以下 397,950円 160,650円

AVS-GW (エイヴィスゲートウェイ)
「F-Secure アンチウイルスLinux ゲートウェイ」をプリインストールした透過型プロキシのセキュリティ製品

お問い合わせ先 株式会社ミカド
東京都千代田区猿樂町2-7-7
電話:03-3295-2588 http://avs-gw.jp/

新製品

「弥生会計05」がネットワーク強化されて登場

中規模法人や個人事業者向けに業務ソフトウェアの開発・販売を行っている弥生から、データ送信などの「繋がる」新機能を搭載した「弥生会計05」が発売された。新コードベースを採用し、インターネット通信機能を大幅に強化。これにより各種オンラインサービスの利用が可能になり、お知らせやFAQなどの最新情報をインターネットで配信するサービスも始まった。それに伴って弥生シリーズは、法令改正に対応した「弥生販売」、「弥生給与」、「電子地図や路線検索機能など」便利さがプラスされた「弥生顧客」など、各製品がバージョンアップされた。



お問い合わせ先 弥生株式会社 カスタマーセンター
電話:0570-001-841
受付時間 9:30~12:00 13:00~17:30
(土、日、祝と休業日を除く)

会社の中を眺めてみれば

ITの効果は「心がけ」で変わる まずは既存資産の使い方から見直そう



はじめにお断りしておくが、今回は筆者の実体験に基づく「ぼやき」である。しかし、多くの方の共感を得られるのではないかと考えている。それはこんなことである。会議で席を空けている同僚に内線電話がかかってきた。仕方なく代理で応答すると、某上司である。「会議中ならちょっと伝えといて」と、話し始める。結構長い伝言である。メモして彼の机に置く。しばらくすると、また内線電話である。止むなく代理で出る。「さっきの件解決したから、と伝えといて」と某上司は言うのである。思わず「Eメールがあるでしょ」と、心で叫んでしまった。普段Eメールを使いこなしているのだから、「こんな時こそEメール」だと思ふ。実は、某上司とやり取りした電話にはボイスメール機能も付いている。誰かにメモを頼まなくて済む便利なツールである。しかし、これは筆者も含め皆まったく使っていない。最近入った新人社員は、その存在すら知らないかもしれない。理由は単純で、使い方を覚えていないから。そして、誰も「使おう」と言わないからである。I T 導入・活用の意義として、「生

産性向上」というフレーズをよく聞く。先に記したようなケースなら、I P 電話の世界でよく話題になる「プレゼンス」という機能がある。これは、事前に登録したグループのメンバーがどのような状態なのか (在席か離席か、会議中なのか外出なのか、休暇なのか等々) をパソコンなどで常時確認できるもの。この情報を見て、席にいるなら電話、不在ならEメールやボイスメール、外出中なら携帯電話に……、というように、誰の手も煩わせることなく相手とコミュニケーションできるのだ。しかし、これも先述の例からわかる通り、すでに導入されているシステムでも、使う人の心がけ次第で社内のコミュニケーションを円滑にし、業務の効率を上げることができるはずだ。自戒の念も込めて、オフィスの中に今あるシステムやツールの利用方法を、もう一度きちんと考えてみてはどうだろうか。そして、ぜひ社員にいろいろと聞いてみることをお勧めする。個々人のレベルでは、人知れず「素晴らしい使い方」をしていたりするし、筆者のように気の弱い社員の不満から、いろいろなアイデアが出てくるものだ。



効果的なIT活用による一
お客様経営力向上支援企業
コベルシステム株式会社
KOBELCO SYSTEMS CORPORATION
http://www.kobelcosys.co.jp/

イベント

中小企業IT化推進フェア2004

経済産業省および独立行政法人情報処理推進機構（IPA）主催の「中小企業IT化推進フェア2004」がITS SP事業の一環として、2004年10月26日に仙台市、2004年11月17日～11月19日に北九州市にて開催された。

来場者数は仙台会場は約3000人、北九州会場は



▲会場ではビジネスに利用できるIT製品やサービスが紹介された。



▲IT経営応援隊ブースでの事例発表

は約3万人（3日間）。初の開催となった仙台会場のIT経営応援隊ブースでは、東北地区のITを活用した経営革新事例が発表され、盛況であった。

イベント

東京から世界へ―販路開拓市「産業交流展2004」開催

2004年10月22日～23日東京ビッグサイトにて、東京・埼玉・神奈川・千葉の「都三県」に事業所を持つ中小企業などを対象に、「産業交流展2004」（主催…産業交流展2004実行委員会）が開催された。目的はアジアを中心とした海外への販路拡大を含めたビジネスチャンスの提供。出展者数は542社、来場者は約3万人。



商品が次々と紹介され、説明や実演を行っているブース前では賑わいをみせた。IT経営応援隊も出展し、ITコーディネータによる各種セミナーや相談会を開催。メインステージでは石原都知事が出席しての「ベンチャー技術大賞表彰式」や、国内トップシニアの製品を持つ中小企業経営者によるパネルディスカッションなどが行われた。

COMPASSひろば

前号（COMPASS秋号）に寄せられたご意見の一部をご紹介します。

特集「会社を伸ばす現場の情報」について

- ・情報について再度考え直すことができた
- ・サーバーの理解が深まった
- ・事例があってわかりやすい

「IT導入 利用者の本音を聞く」について

- ・数値に基づく経営戦略の理解が深まった
- ・身近な携帯電話でASPサービスを利用できるのは便利だ
- ・エール進学教室の例は勉強になった

本誌全般について

- ・「IT活用泣き笑い」が面白い
- ・非常に具体的によくまとめられていると思う
- ・具体例が豊富になってきている
- ・おサイフケータイはタイムリーな情報

- ・COMPASSにこんな情報を載せて欲しい
- ・IT化のこんなことで困っている
- ・Q&AコーナーでITコーディネータに質問したい

COMPASSへのご意見・ご要望をメールで受けつけております。お気軽に投稿してください。

Eメール：compass@ric.co.jp

エッセイ あいていのある職場日記

世中 渉（よのなか・わたる）

著者プロフィール：メーカーに入社16年目の営業職。

出世はおまけと割り切りつつも、上司と部下に挟まれて迷い多き日々を送っている中年風中間管理職。

「提言」

この連載もかれこれ6回目となる。何を隠そう実は私は社会派であることをそろそろアピールしておかなければなるまい。無駄に20年近くも会社勤めをしてきたわけではないということ世に知らしめたい。そんなわけで新しい年を迎えた今、今後日本はこうあるべきだということについていくつか提言してみたい。

まず一つめは、情報インフラの整備についてである。「インフラ」自体の意味はよくわからないが、ここではあまり気にせずに書いてみたい。我が家にはパソコンがない。なぜないのか。それは金がないからであり、使い道がないからであり、欲しいとも思わないからである。しかし、これは情報先進国といわれるわが国にとっては大きな問題だ。私のようなものでも個人でパソコンを買えるような政策を政府はとっていない。「20%ポイント還元」などの民間努力のみに委ねるだけでは我が家のようなごく平均的な家庭への整備は進まないであろう。一刻も早い政府の対応を希望する。

二つめは、情報漏えい対策についてである。「情報漏えい」がもたらす被害についてはよくわからないがあまり気にせずに書いてみたい。この4月より「個人情報保護法」が全面施行される。これまた法律を作るだけ作ってあとは民間がきっちりやれよとい

うお粗末な内容だ。多くの情報漏えいはちょっとした気の緩みから起こりうるものなわけで、法律が施行されたからといって「今日から私は酒を飲んで電車に乗ってもかばんは網棚に置きません」などとほならないわけである。

かばんを持つときは酒を飲んじゃいけないのですか？ かばんを盗まれたら会社クビですか？ かばん持たないで酒飲まなきゃいいってことですか？ かばん業界と酒業界にとっては死活問題である。

最後は、雇用対策についてである。これは切実な問題であるので、心して書いてみる。失業率の改善が進まない。そのくせ企業のリストラは容赦がない。会社への貢献度が極めて微妙な私にとっては、かばんを持たず・酒は飲まずにしても今の地位に安穏とはしてられない。転職といってもこの歳の営業職（営業職と括弧と普通の営業職の方に失礼か？）では就職口はほとんどない。いっそ「もの書き」にでもなるうかとも思うがこの程度のコラムがいっぱいっばいのところである。

いやあ、やっぱり社会派ってのは疲れますなあ。所詮庶民派は庶民派。みなさんも、肩肘張らずに朗らかに酒でも飲んで、楽しい年にしましょうや。